

報道発表資料

令和 元年 5月29日
公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構
RDMM支援センター

公道走行実証実験プラットフォーム (K-PEP) を活用した 運転時の脳波測定による交通事故削減効果実証実験について

公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構 (理事長 柏原康夫) RDMM 支援センターは、下記のとおり、株式会社ファーストステーション及び宮田運輸株式会社による「トラックの車体へ描かれた子どもの絵が、どのように周辺のクルマの運転者に心理的な影響を及ぼし、どれだけ安全性の向上に寄与するか」を検証する実証実験に参加・協力いたしましたので、ご報告します。

なお、この研究成果は、10月4日、京都国際会館で開催される「事故ゼロ・フォーラム」(※1) で発表される予定で、当センターとしても、安全な交通社会の実現に向けて様々な取組を支援してまいります。

1 実証実験の概要

	内容
実施内容等	こどもの絵を貼ったトラックの後方を運転する時と何も貼っていないトラックの後ろを走行する時のドライバーの脳血流量、ストレス値、深部体温、心電図、脈拍、酸素飽和度等により疲労度を測定する <u>(実施方法)</u> 法定速度でトラックを追尾しながら普通車が走行して測定する
実施期間・会場	2019年5月11日 (土) ~12日 (日) 京都府相楽郡精華町 (けいはんな学研都市)
走行地域	KICK周辺道路 (別図)
走行方法	トラックと乗用車が複数回周回
使用車両・機材等	8トントラック2台 (2名)、乗用車1台 (10名)、脳波測定器 (3名)
実施主体	株式会社ファーストステーション 宮田運輸株式会社
協力団体	一般社団法人こどもミュージアムプロジェクト協会 (※1) 一般社団法人事故ゼロ・フォーラム (※2) 特定非営利活動法人あおときいろ (※3)

2 実験風景



ラッピングカー

ラッピングされた子どもの絵

3 走行ルート



【参考】

■ 公道走行実証実験プラットフォーム (K-PEP) について

K-PEP は、自動運転等の新技術や新たな交通システムの確立に向け、日本で初めての企業乗合型、住民参加型の公道走行実証実験プラットフォームで、①多数の企業が共同の設備やインフラを使用して実証実験に参加できる ②RDMM 支援センターの各種手続き等に関するサポートを受け、けいはんな学研都市の優れた道路インフラが円滑に活用できるなどの支援を行っています。

■ 「RDMM 支援センター」について

RDMM は Research(研究)&Development(開発)for Monozukuri(ものづくり)through Marketing(マーケティング)の略で、持続的にイノベーションを創出する連携のハブ (hub) 組織で、マーケットを見据えながら、新事業・新産業創出の加速に向け、企業や大学、公的機関等の連携によるオープンイノベーションを基軸に、研究開発から事業化までワンストップで支援する組織です。

■ こどもミュージアムについて (※1)

こどもの絵をラッピングしたトラックで交通事故抑制を広げる取組(115社が参画、ラッピングカー446台)

■ 事故ゼロ・フォーラムについて (※2)

2030年までに交通事故死ゼロの社会をめざしたイノベーション構築をおこなっている企業・自治体で構成される組織 (⑩年度参加法人数=約100社)

■ 特定非営利活動法人あおときいろについて (※3)

障害児に関する事業等を行うことによって、障害児の自立支援と社会参加の促進に寄与することを目的に活動している枚方市に事務所を置く法人

■ 本件に関するお問合せ：

公益財団法人 関西文化学術研究都市推進機構

RDMM支援センター (担当：井上、浅井)

<https://www.kri.or.jp/rdmm/>

Tel : 0774-98-2230 / FAX0774-98-2202 / e-mail : rdmm@kri.or.jp

〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台1丁目7 けいはんなプラザ ラボ棟3F